

## 行動の意味を理解しておくこと

本日の避難訓練は、弾道ミサイルが東京方面に着弾したことを想定したものです。弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災無線でサイレンを鳴らしたり、緊急情報がテレビ等でも流れたりします。

11月3日、7時50分頃、北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、Jアラートで緊急情報が発信されたことがありました。このときの対象地域は、宮城県・山形県・新潟県でした。最終的には、ことなきを得ましたが、緊張感が日本全国に走ったことは記憶にあると思います。今回の避難訓練は、そのことを踏まえ、実施されたわけです。

さて、今回の避難訓練で、皆さんは、机を可能な限り窓から離し、机の下に潜り込みました。また、先生は教室のカーテンを閉めたり換気扇を止めたりしたと思います。肝心なのは、そういった行動がどのような意味をもつのかを理解しておくことです。そうすれば、先ほど、安全委員長の吉江さんが話をしていたように、休み時間に、Jアラートが鳴ったら…どうするのか、また、帰宅途中の道だったら…、自宅だったら…と応用して、自分が必要行動を瞬時に判断することができると思います。さらに、今回の訓練内容は自然災害にも応用できます。2年生の理科で学習した「竜巻」です。繰り返しになりますが、行動の意味をしっかりと理解しておくことが、自分の命を守ることに繋がります。

今回の避難訓練を通して、心に留めて欲しいことがあります。その1つは、北朝鮮の人々に対する偏見や差別についてです。先ほど、「北朝鮮から弾道ミサイルが発射され」とお話ししました。テレビなどの報道を受け、日本に住んでいる子供たちが通う朝鮮学校に対し、暴言が寄せられたという話を聞きました。皆さんと同じように、将来に夢をもち、一生懸命に勉強している子供たちを批判の的にすること、とても悲しい思いになりました。

2つ目は、今この瞬間にも、世界の中で戦争が行われているということです。ウクライナでは電気やガスなどのインフラがいきわたらず、例年になく暖冬とはいえ、人々は寒さに凍えています。学校で勉強することもままなりません。何よりもミサイルがすぐ近くに着弾するかもしれない恐怖に怯えています。戦争が一日も早くなくなることを強く願います。私からのお話は以上です。